

寅さん歩 その23

東京の博物館めぐり-17

文京区-4

平野 武宏



文京区の博物館めぐりの続きです。臨時休館だった各博物館は新型コロナウイルス拡大防止の対策を実施して再開館しました。写真右上は文京シビックセンター(文京区役所)です。区内に多くある博物館(記念館・資料館・展示館等を総称します)から寅次郎の好みで選び、独断と偏見の紹介と感想です。各博物館の詳細を知りたい方は各博物館のホームページをご覧ください。入場料の記載なしは無料です。最寄り駅は代表例と出口です。

バーチャルウォーク「中山道六十九次」の途中経過も報告します。

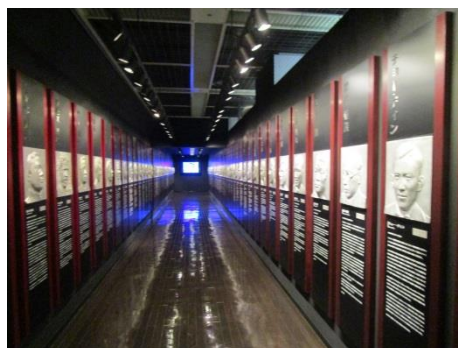
〔日本サッカーミュージアム〕 文京区本郷 3-10-15

最寄駅 JR 御茶ノ水駅 御茶ノ水橋口

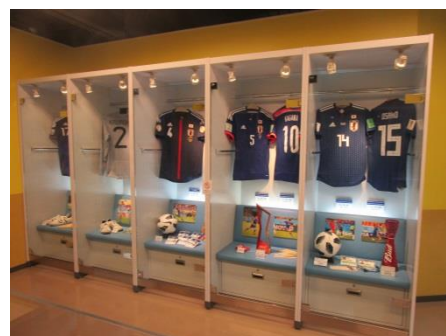
御茶ノ水橋を渡り、サッカー通りを行くと左手にあります。寅次郎、2月末に訪れましたが、あいにく休館日で以降が新型コロナウイルス感染拡大防止で臨時休館となっていました。感染拡大防止の対策を行い、7月4日から全面的に再開館したので7月10日訪問しました。開館13時の訪問者は寅次郎の他1名でした。2002年(平成14年)のFIFAワールドカップ開催(日本と韓国の共同開催)を記念して2003年(平成15年)12月に開館したサッカー専門ミュージアムです。写真下左は1階の正面、ミュージアム入口は地下1階(写真右)です。



館内は、日本代表チーム、なでしこジャパン、Jリーグ関連の展示物、映像など日本サッカーの歴史がぎっしり詰め込まれています。開館は平日13時～18時、土日祝・特別開催日10時～18時。休館日は月曜日（祝日の場合は翌日）。有料ゾーン（B2フロアー）の入場料は一般550円、小・中学生300円です。B1フロアーは「ロッカースタンド」でJリーグコーナー（写真下左）と日本サッカー殿堂（写真下右）とショップがあります。



B2フロアーは「ピッチ」（有料ゾーン）です。すぐ目の前にスクラムを組む日本代表男子選手達の姿（写真下左）、写真下右はロッカールームです。



サッカー日本代表男子の世界への挑戦、写真下左は1964年東京オリンピックでベスト8入り、写真下右は1968年メキシコオリンピックで銅メダルを獲得。



写真下左は2012年FIFA女子ワールドカップで初優勝のなでしこジャパン。

写真下右は日本が獲得した数々のトロフィー・楯類です。



写真下左は2012 FIFAワールドカップのチャンピオントロフィー（レプリカ）で本物の展示が待ち遠しいです。各国代表チームのユニフォームも展示。



特別展示は日本代表選手達のポジション別のユニフォームです。

写真下左はFW、写真下右はMFです、



写真下左はGKです。1階の「アッパースタンド」（ヴァーチャルスタジアム）は閉鎖中で見られませんでした。

写真下右は新型コロナ感染対策のため制限や中止の展示もあり、ご迷惑・ご不便をかけたと日本サッカーミュージアムの招待券（2021年3月31日まで有効）とともにいただいたプレゼントの「手ぬぐい」で応援グッズにもなります。



サッカーファンにはたまらない場所です。



【わだつみのこえ記念館】 文京区本郷 5-29-13 赤門アビタシオン 1階

最寄駅 大江戸線 本郷三丁目駅

東京大学方面に向かい左側（赤門と反対側）を歩き、赤門を過ぎた辺りの左に看板があります。アジア・太平洋戦争の戦争犠牲者に関する資料を広く収集。日本戦没学生の遺稿集「きけ わだつみのこえ」に収録された日記・手紙などの原資料を中心に、遺品や遺影など多くの資料を保存・展示しています。



「きけ わだつみのこえ」とは遺稿集を出版する際に書名を全国から公募した中であつた短歌から決められたそうです。わたつみ（わだつみ）とは海神を意味する日本の古語とのこと。

「わだつみの悲劇を繰り返さない」誓いを後世に伝えていく施設です。
開館は月・水・金曜日の13時～16時（祝日、年末年始、夏季休暇を除く）
7月10日、日本サッカーミュージアムの後で訪問しましたが、訪問者は寅次郎一人でした。

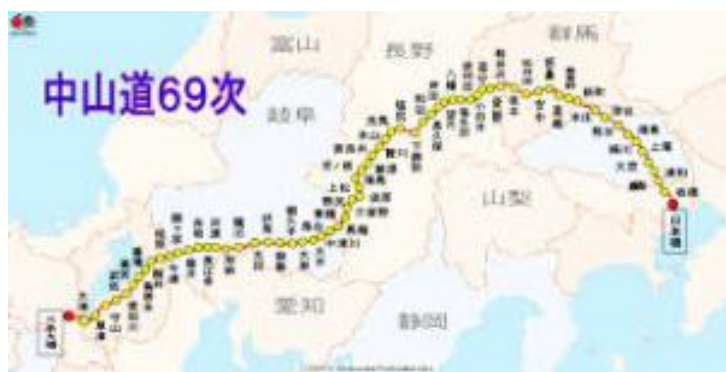
【こぼれ話】赤門も閉鎖中です。



いつもは誰でも自由に入れる東京大学本郷キャンパスの赤門の扉も新型コロナウイルスの関係で「構内は関係者以外の立ち入り禁止」の看板が出て、閉まっています、入るのは「狭き門」です（7月10日現在）。早く構内を散歩したいものです。

【バーチャルウォーク途中経過】

八柳修之さん作成のバーチャルウォークコースがFWAホームページ「YR・四季の道」に掲載されています。寅次郎、「中山道六十九次」に挑戦です。
7月7日、日本橋を出立し、8月2日、日本橋から11番目の新町宿（93.7Km）に到着しました。新町宿は現在の群馬県高崎市新町に位置します。ここは日本最大のウォーキング大会「日本スリーデーマーチ」発祥の地で1978年（昭和53年）「第1回全日本スリーデーマーチ」が開催されました。参加資格は12歳以上、30・40・50キロコースを設置。第3回大会からは現在開催の埼玉県東松山市に移り、参加資格の年齢制限を撤廃、10キロコースも追加されました。現在は5・20キロコースもあります。国際マーチングリーグに加盟し、毎年多くの外国人ウォーカーが参加します。写真下は2019年第42回大会のポスターですが、台風19号の被害で中止、2020年の大会も新型コロナウイルスの影響で中止となっています。寅次郎は1998年（平成10年）第21回大会で30キロを3日間（計90キロ）歩く初挑戦で大会デビューしました。



しばらくは例会やY Rがお休みですので、自宅近くにマイお散歩コースを見つけ、その距離を累計して楽しむバーチャルウォークを始めませんか。

FWAのHP「Y R・四季の道」には「ひとりで歩くコーナー」があり、コースが紹介されています。マイお散歩や一人歩きでの距離を累計して進む「バーチャルコース」が多く掲載されていますのでご利用ください。

歩く際は密閉・密集・密接の3密にならないようご注意ください！

ウォーキングで人との距離(2m以上)が確保できる場合はマスクを外して、熱中症にもご注意ください！

次回は 東京の博物館めぐり-18 です。

平野 寅次郎 拝